

■西九州させば広域都市圏ビジョン(第2期)(案)への意見に対する回答

No	該当頁	項目等	ご意見等	対応状況等
1	47頁	連携事業「少年科学館事業・理科学習支援」について	大変すばらしい学習支援である。教育の格差が広がらないためにも、スポーツや文化だけでなく、プログラミングや科学実験などに興味をもってもらえるような機会が増えるとよいと思う。	今後の事業
2	63頁	連携事業「公民連携プラットフォームの形成」について	関係市町がPPPプラットフォームをどのように活用するのか、イメージを教えてください。	佐世保PPPプラットフォームは、PPP/PFI事業の創出と推進を目的とし、その情報提供や、民間企業と地方公共団体が対等な立場で意見交換を行う場として、平成28年度に設立したものです。 佐世保市が保有するPPPプラットフォーム機能について、連携各市町も含めた広域的な展開を図ることで、圏域全体で公民連携の取組みを促進し、公共施設運営の効率化・高付加価値化を目指しております。 PPPプラットフォームは、各種テーマに基づくセミナーや自治体職員間での意見交換、具体的な案件に関する事業説明及び民間事業者との意見交換等を行う場として年3回程度開催しています。 連携各市町においては、各種セミナーや意見交換会等への参画を通じ、職員の理解促進や情報収集を図るほか、事業の進め方の相談の場として、また民間事業者等との意見交換を行う場としての活用が可能と考えております。
3	37～44頁	役割「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」について	人口が少ない市町における「福祉」「医療」「育児」「教育」の施設の維持は大きな課題である。小児科がない市町もあり、連携事業に大きな期待を抱いているとともに、活発な活用につながるよう周知・協力を続けさせていただく。	
4	26頁	連携事業「広域連携による周遊観光の推進」について	事業内容として、2次交通についての検討を同時に進めてはどうか。	
5	30頁	連携事業「特定複合観光施設(IR)推進」について	IR誘致により雇用が増えることは良いことであるが、一方で地場企業の雇用を奪う可能性があり、地域経済を減退させる危険性を孕むため注意が必要である。	ご指摘の点につきましてはIRによる地域波及効果の最大化を目指す上での留意が必要な事項と認識しております。 九州・長崎IRの認定後には民間IR事業者の雇用条件等を見定めていく中で、地域の雇用実態等を把握されております各市町の商工会議所や商工会とも連携して進めていきたいと考えております。